



# 予算のあらまし 2011



- ② 施政方針
- ④ 教育行政方針
- ⑤ 平成23年度の主な事業
  - 市民が安心して暮らせる  
まちづくりに向けた取組
  - 将来のまちづくりに向けた取組
  - 生涯学び続けることのできる  
まちづくりに向けた取組
  - 市制60周年への取組
- ⑩ 平成23年度豊田市の当初予算

## これまでのまちづくりの 持続的自立都市として

豊田市は昭和26年3月に、人口約3万2千人、面積約39平方キロ、県下12番目の市として誕生しました。以来、昭和・平成の合併を経ながら、中部圏の中核都市、また全国屈指の産業都市へと発展をとげ、市制施行60周年の意義ある節目の年を迎えるに至りました。市民の皆様によって、60周年を記念する多くの取組が予定されていることは嬉しい限りです。一方で「第7次豊田市総合計画」においては、厳しい財政状況であることを踏まえた上で、前期実践計画から継続すべき事業を精査し、後期実践計画を策定していくことになります。

平成23年度も引き続き、市財政、市内経済共に厳しい状況下で推移するものと予想されますが、諸先輩が築きあげてこられたまちづくりの成果、その基盤となった知恵を生かしていけば、今後における持続的自立都市としての成長が可能であると考えています。

平成23年度の当初予算と施策について申し上げます。(当初予算については5頁からご覧ください)

### 市民が安心して暮らせる まちづくりに向けた取組

#### 1 経済対策の取組

■緊急雇用創出事業や農林業の担い手育成、中小企業に対する信用保証料の補助、ビジネスチャンス拡大に向けた支援を行います。

■市内業者を対象にした公共事業費の確保に努めるほか、農工商連携による地域特産品の創出支援など景気回復に取り組みます。

■地域経済を牽引する産業振興策に加え、新たなビジネスへの展開が期待される環境関連分野の取組を積極的に支援します。

#### 2 子育てを支える取組

■子ども手当の充実による子育て家庭への経済的支援や成人性白血病の原因となるウイルスの検査項目などを追加し、妊婦健康診査の充実を図ります。

■こども園の改築などによる受入態勢の強化や保育ママ事業の実施による待機児童対策を進めるほか、(仮)柳川瀬子どもつどいの広場を整備します。

■放課後児童クラブでの小学4年生の受入れを試行的に実施します。

■家族のきずなづくりを進める事業の実施や子どもホームページの開設を準備します。

#### 3 安全・安心なまちづくりへの取組

■大規模災害発生時に備え、市役所業務が円滑に遂行できるよう業務継続計画を作成します。

■一級河川安永川の改修、橋梁やこども園などの公共施

設の耐震化を進めます。

■深夜巡回パトロールや地域防犯リーダー養成講座の実施、自治区が行う防犯灯の設置・管理を支援します。

■高齢者の交通事故防止のための講習を拡充するとともに、自動車学校での実技教室を実施します。

■足助消防署稲武出張所や24時間対応型ヘリポートを整備するほか、救急救命士の養成など救急体制強化を図ります。

■水道事業については計画的な施設整備と簡易水道などの統合を進め、安定供給に努めます。

#### 4 福祉と医療の充実への取組

■施設整備計画の一部を前倒しして、3か所の地域密着型特別養護老人ホームの建設を支援するとともに、猿投台地区に地域包括支援センターを新設します。

■平成24年度からの3か年を計画期間とする「第5期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定します。

■障がい者の日中活動の場所を確保するため、事業を行う社会福祉法人やNPO法人などを支援します。また、障がい者の自立と社会参加を計画的に支援するため「第3期豊田市障がい福祉計画」を策定します。

■福祉センターのオープンに合わせて、施設内に障がい者の就労の場を確保します。

■中山間地域の医療拠点である足助病院の改築を支援するほか、豊田地域医療センターの再整備を検討します。

#### 5 健康づくりへの支援に対する取組

■平成24年度の供用開始に向けて(仮)中央保健センターの整備を進めるとともに「(仮)健康づくり豊田21計画」を策定します。

■子宮頸がん予防ワクチンやヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成します。

■食育については「(仮)新・豊田市食育推進計画」に基づき、子どもの育成、地域での交流体験、健康づくりを柱とし、親子食育講座などの各種事業を実施します。

### 将来のまちづくりに 向けた取組

#### 1 共働によるまちづくりの推進への取組

■自立した地域社会を実現するため、引き続き共働のまちづくりを推進します。

■地域自治システムについて、地域自治区や地域会議の実績を検証し、必要な見直しや拡充を図ります。また、共働の取組の総括と一層の推進のため、(仮)地域自治シンポジウムを開催します。

# 成果、知恵を生かし 成長します



豊田市長 鈴木公平

■NPOなど団体の設立時に行ってきた支援に加え、団体の自立や活動の活性化に向けた支援をします。

## 2 都市基盤の整備への取組

### ①農山村振興の更なる取組

■年々拡大するイノシシ被害に対応するため、侵入防止柵の設置や猟友会への駆除委託などを拡充するほか、地域が行う捕獲檻の管理や捕獲獣の処分を支援します。

■急増するツキノワグマの出没に対して、防除・捕獲対策を拡充します。また、鳥獣害に対する市民からの通報や問合せの一元化を図るための窓口を新設します。

■小原地区での分譲宅地販売、旭地区での低家賃住宅整備、稲武地区での一部市営住宅の入居基準見直しなど、地域に応じた取組を実施するほか、移住希望者への支援として農山村等定住奨励金を拡充します。

■5月に足助地区でオープンする里山くらし体験館を拠点とし、交流や定住事業を実施します。

■農地バンク制度を活用し、遊休農地のあっ旋に取り組むほか、集落営農を促進します。また都市と農山村との交流を促進するセカンドスクールの対象を中高年に拡大します。

### ②都市基盤の再構築への取組

■豊田市駅前広場を中心とした都心交通計画を策定するほか、駅前通り北地区の市街地再開発事業を推進します。

■浄水、土橋、寺部、花園地区などに続き、四郷駅周辺ほか2地区の土地区画整理事業の事業化に向けた調査を実施します。

■鉄道高架事業については、花園地区の事業完了を受け、若林駅周辺の事業化に向けて取り組みます。

■高橋細谷線や猿投公園線など主要幹線道路の整備を進めるほか、豊田南・北バイパスや国道248号、301号など国県道路の整備を支援します。

■計画的に公共下水道を整備するとともに、合併処理浄化槽の設置を促進します。

### ③環境モデル都市への取組

■八草駅のパークアンドライド駐車場の拡張、三河上郷駅と若林駅を連絡する基幹バスの運行などにより、自動車から公共交通への転換を促進します。

■次世代自動車の普及を図るほか、太陽光発電や家庭用燃料電池などの活用により、エネルギー利用の最適化を図りながら、暮らしの中での二酸化炭素排出量の削減を進めます。また市民の環境に配慮した行動を促すため、とよたエコポイントを活用します。

■中央公園の拡張計画を策定するほか、都心における住宅の緑化を誘導する仕組みを構築します。

■森林の分野では、人工林の健全化に向けた間伐を推進

し、二酸化炭素の吸収量を拡大します。また、木質バイオマスの活用を図るため、渡刈クリーンセンターの助燃エネルギーとして、間伐材を活用します。

■低炭素社会に向けた取組と効果の見える化の拠点としてモデル地区を整備し、ライフスタイルの変革を促すとともに、低炭素技術の実証・実用化を契機とした産業振興を図ります。

## 3 産業基盤の整備への取組

■平成24年度からの分譲を目指す西広瀬工業団地の拡張を進めるほか、新たな産業用地として花本産業団地の拡張や八草地区での整備に向けた調査を進めます。

■本市の基幹産業である自動車産業の構造の変化に応じた市内企業の事業展開を支援するほか、新たな産業の創出に向けた具体的な施策を検討します。

■「新・がんばる商店街応援プラン」に基づき、意欲的な事業者のネットワークによる魅力ある商品開発への取組や、買い物弱者への対策など地域の課題解決につながる事業を支援します。

■農家の規模拡大に対して支援するほか、市内農産物の学校給食への利用や豊田スタジアムでの月2回のファーマーズマーケットの開催など、地産地食を推進します。

■業種の垣根を越えた農商工連携による新たな産業の創出に取り組みます。

## 市役所の構造改革と 総合計画の着実な推進

### 1 中期経営方針を踏まえたまちづくり基本条例戦略プランの推進

■まちづくり基本条例戦略プランを着実に推進し、市役所の構造改革を図ります。

■市税収入の大幅な減少や国の地域主権改革の動向など、本市を取り巻く様々な環境変化へ対応するため、中期経営方針を踏まえ、全庁一丸となって取り組みます。

### 2 更なる発展に向けた後期実践計画の策定

■「第7次豊田市総合計画」の実現に向けて、平成25年度から29年度までを計画期間とする後期実践計画の策定に着手します。策定にあたっては中期経営方針を踏まえ、施策評価などにより事業を精査するとともに、本市の更なる発展に向けた施策や事業を立案します。

以上、平成23年度の施策につきまして、基本的な考えを申し上げました。なにとぞ、皆様のご理解ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## 豊田市の次代を担う 「人づくり」を進めます

豊田市教育行政計画の基本理念である「多様な市民一人ひとりが、自ら学び、共に高め合う共生共創社会の実現」に向けて、平成23年度の取組についてお示しします。



教育長 笠井保弘

### 「人づくり」を柱にした取組

#### ●学校教育分野における「人づくり」

##### 《開かれた学校をつくる》

学校は保護者や地域から信頼される開かれたものでなくてはなりません。子どもたちの現状を知ってもらい、保護者や地域の人々の参加・協力を得て教育活動を充実するために、学校だよりの発行、学校アドバイザー制度の活用、地域教育懇談会の充実などで、課題の共有や行動連携を生み出し、信頼される学校につなげていくことを重視していきます。また、4月から小学校で新学習指導要領に基づいた教育活動が完全実施されます。変化が激しい時代に適合した知・徳・体のバランスのとれた力をはぐくむため、子どもたちの「生きる力」の育成に一層努めます。

##### 《使命感と指導力のある教師の育成》

学校における最大の教育環境は教師であり、教育のハード面の充実と共に、教師の育成が重要であると考えています。平成23年度も若手教師から管理職までのすべての教師を対象に、市教育センターにおいて研修を行い、指導力向上に努めていきます。また、教師の自主研修の機会としてのサタデーセミナー、教師を志す学生を対象とした教師養成講座も引き続き開講し、使命感と指導力のある教師の育成に努めます。

##### 《学校経営のマネジメント力を高める》

学校教育を充実させるためには、各学校の校長がリーダーシップを発揮して学校を運営しなくてはなりません。教育委員会では、校長研修を通して学校経営のマネジメント力を高めるとともに、各学校を指導します。また、これまでも実施してきたクラシックコンサートや能楽の鑑賞会など、豊かな心を醸成する事業を継続するとともに、少人数学級の中学3年生への拡大、米国への中学生海外派遣事業の再開、PFIによる新東部給食センターの運営開始、アレルギー対応給食の実施などの事業を加え、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちの育成の取組を推進します。

#### ●文化・スポーツ分野における「人づくり」

##### 《市民に夢と感動を提供する》

平成23年度は市制60周年にあたります。世界的に有名なフェルメールの作品を展示する美術展、NHKのど自慢、豊田国際体操競技大会など節目を飾るにふさわしい文化・スポーツイベントを開催し、市民の皆様が夢と感動を提供する1年にしていきます。親しみの感じられる身近な民芸品を鑑賞する機会を作るため「民芸の森」の設計を進めます。

##### 《生涯スポーツのまち》

市民がそれぞれの体力や年齢に応じて生涯にわたって

スポーツに親しみ、充実した生活を営むことができる生涯スポーツ社会の実現が求められています。市民が「するスポーツ」の習慣化を図ることのできるスポーツプログラムの提供を開始し、生涯スポーツのまちを目指していきます。

### 「連携」を柱にした取組

#### ●学校教育分野における「連携」

学力の向上は学校教育に課せられた大きな使命ですが、その基礎となっているのは家庭教育です。これまでも民生委員児童委員協議会と連携して取り組んできた「わが家のルールづくり運動」や「早寝、早起き、朝ご飯」のキャンペーン活動を継続し、家族のきずなを強めていきます。また、青少年相談センター（パークとよた）では、保護者、教職員、保育師などが子育てについて学ぶ「月例セミナー」の内容を工夫・充実し、子どもの成長を支えるための有効な手段やヒントを提供していきます。小学校では「豊田市ものづくり教育プログラム」を実施しており、より多くの学校で実施できるよう社会部との連携を深めていきます。近隣の大学との連携では、学生ボランティアによる小中学校での教育活動への参加を進めています。さらに、地元で愛される学校を目指す浄水地区の「地域共働の学校づくり」や、築羽小学校をはじめとする「学校規模の適正化」についても、引き続き地域住民と十分協議・連携し、子どもたちにとって望ましい学習環境の整備をしていきます。

#### ●文化・スポーツ分野における「連携」

豊田市には文化とスポーツの振興を支えている優れた施設が多くあります。中心市街地の活性化に向けて、施設が連携して取り組む事業を実施し、イベント開催時における経済波及効果の調査など、客観的な指標による検証も行いながら、まちの活性化を図っていきます。また、市内には伝統的な文化財も多くあります。足助の町並みについては、豊田市足助伝統的建造物群保存地区保存計画に基づき、住民との連携により適切に保存整備に取り組んでいきます。豊田市は多くの国際的なトップアスリートを育成している企業や大学を有しています。スポーツ団体、地区総合型スポーツクラブ、行政などスポーツに関わる組織の横断的な連携を強化し、共働してスポーツ振興に取り組んでいきます。自立に向かう地区総合型スポーツクラブの育成支援のため、市体育協会ははじめスポーツ団体などとの連携づくりを検討していきます。

市民一人ひとりが自ら範を示せる「尊敬される大人」を目指して生涯学び続けていけるよう教育の振興と発展にまい進していきます。ご支援ご協力をお願い申し上げます。

# 平成23年度当初予算 主な事業を お知らせします

一般会計当初予算  
**1,590 億円**  
(前年比 2.2%増)

平成23年度の予算編成は、限られた予算規模の中でも、市民の皆様へ質の高いサービスを提供できる財務体質の維持を念頭において、歳入面では新たな財源の確保、歳出面では財源の有効活用の徹底を基本としました。

平成23年度は  
このようなことに  
取り組んで  
いきます！



※課名は平成22年度のもので、4月1日(金)から変更になる場合があります



プラグインハイブリッド車（PHV）と  
太陽光充電施設

▲事業者が市内で業務に使用するための次世代自動車の購入費用に対して補助金を交付します

## 1 市民が安心して暮らせるまちづくり に向けた取組

### (1) 経済対策

●緊急経済対策を超えて、新たな成長を目指す豊田市元気プロジェクト（雇用対策、中小企業対策、景気対策、成長対策）を実施します。【28億9,932万円、産業労政課・農政課・森林課・商業観光課・環境政策課・環境モデル都市推進課】

### (2) 子育てを支える

●保育ママ事業やこども園・子どもつどいの広場の整備、幼児2人同乗用自転車の購入支援など、安心・安全に子育てができる環境整備を進めます。

【3億6,926万円、保育課・交通安全課】

●母体や胎児の健康管理の充実を図るため、公費助成による健康診査の検査項目を拡充します。

【4億4,586万円、子ども家庭課】

●子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、子ども手当・児童扶養手当の給付、中学校卒業までの医療費無料化を継続します。【143億5,926万円、子ども家庭課・生活福祉課】

### (3) 安全・安心なまちづくり

●災害時に備え非常食や飲料水などの緊急生活物資の備蓄強化と、避難所生活時の環境整備を図るため、指定避難場所に下水道接続型の災害用便槽（マンホールトイレ）を整備します。【3,067万円、防災防犯課】



▲地域で生活する高齢者が安心して生活できるように支援するために、地域にある関係機関が地域で見守る体制を構築し、高齢者を「ささえあう」ネットワークづくりを進めています

●防災力の向上を図るため、地域集会施設の耐震診断・設計の支援、橋梁・立体横断施設耐震補強、こども園の耐震補強、耐震性貯水槽の整備、民間木造住宅耐震化など建築物の耐震化を進めます。【2億9,739万円、地域支援課・道路維持課・保育課・警防救急課・建築相談課】

●市街地の浸水被害を防止するため、一級河川永川のトンネル新設・樋門工事、雨水ポンプ場を耐震整備します。【28億8,616万円、河川課】

●安心して安定した水供給の向上を図るため、水道施設の耐震化や更新などを進めます。

【36億8,876万円、水道整備課・水道維持課・上水運用センター・地域水道課】

●交通安全学習センターでの高齢者向け講習会を拡充し、交通事故を防止します。【1億9,038万円、交通安全課】

●犯罪のないまちづくりを推進するため、市民・地域・行政が連携して防犯活動を実施します。【2億7,413万円、防災防犯課・地域支援課・11支所】

●市民の生命や財産を守るため、消防施設や消防車両を整備・充実し、消防対応力の強化を推進します。【4億7,923万円、消防本部庶務課・警防救急課・指令課・北消防署・中消防署・南消防署・足助消防署】

#### (4) 福祉と医療の充実

●足助病院改築事業への支援や豊田地域医療センター医療機器整備を通じ、医療提供体制の充実を図ります。【11億4,100万円、福祉保健部総務課】

●地域密着型特別養護老人ホームの整備や地域包

▼保健活動や健康危機管理の拠点となる(仮)中央保健センター。平成24年度の供用開始に向けて整備を進めています



(仮) 中央保健センター完成イメージ

括支援センターの新規設置など、在宅生活への支援を充実します。【9億3,476万円、高齢福祉課】

●新規に障がい福祉サービス事業を行うNPO法人などの事業運営や施設整備を支援し、事業参入しやすい環境を整えます。【9,703万円、障がい福祉課】

#### (5) 健康づくりへの支援

●保健サービスの充実と利便性の向上を図るため、(仮)中央保健センターを整備します。【24億7,200万円、管財課】

●食育の推進や胸部X線検査、歯科健診や介護予防事業の拡大、自殺予防対策など、市民が主役の健康づくりを推進します。【6,221万円、健康増進課】

●子どもの感染症予防対策支援のため、任意予防接種(子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン)の接種費用を助成します。【9億6,655万円、感染症予防課】

## 2

### 将来のまちづくり に向けた取組

#### (1) 共働によるまちづくりの推進

●地域自治システム(都市内分権)を推進し、暮らしやすい地域社会を創造します。「共働事業提案制度」・「市民活動促進補助金」により、市民と行



足助地区の歴史的な町並み

▲かつては中馬街道の宿場町として栄え、歴史的な風土が残る足助の町並み。「伝統的建造物群保存地区」としてその景観を保存・活用するまちづくりを推進します

政による共働のまちづくりを推進します。  
【3億 1,036 万円、地域支援課・11 支所・高齢福祉課・農政課・男女共同参画センター】

## (2) 都市基盤の整備

### ■農山村振興

●農山村地域等において、低家賃住宅の整備、山村活性化事業「里山耕」の推進など、定住対策を推進します。【2億 7,470 万円、建築住宅課・地域支援課・足助支所・下山支所・旭支所】

#### 用語解説「里山耕」

「里山耕」は、里山と都市の「耕流」を通して、里山の失われつつある価値を高めることで、活力を創造する事業です。

里山の価値と役割に気づきあう都市と地域住民により、21 世紀型の新たな里山暮らしの提案から実践にまで取り組んでいます。

平成 20 年度からは、その一環として「新盛里山耕流塾 in 足助」を開講。足助地区の新盛町で様々な里山暮らしの実践を行っています。

●鳥獣害対策の推進や雇用促進により、農山村地域の活性化を図ります。【2億 1,303 万円、農政課・農地整備課・産業労政課】

●都市と農山村の交流のための機能と体制を整備し、交流による農山村地域の活性化を図ります。【697 万円、農政課】

●足助地区の歴史的な町並みなどの地域資源を保

▼道路ネットワークを構築するため、主要幹線道路の整備を進めるほか、豊田南・北バイパスなどの国道道路の整備を支援します



豊田北バイパス完成イメージ

存・活用するまちづくり事業を推進します。  
【9億 2,691 万円、足助支所・都市計画課・文化財課・都市整備課・下水道建設課】

●四季桜まつりの渋滞対策などを実施するほか、地域の観光資源の魅力を高め、観光まちづくりを推進します。【5億 8,422 万円、小原支所・旭支所・稲武支所・下山支所・商業観光課】

### ■都市基盤の再構築

●昭和町線電線類地中化、都心公共施設活性化事業など、中心市街地に魅力と賑わいを創出し、中心市街地の活性化を図ります。【7,769 万円、都市再開発課・都市計画課・都市整備課・文化振興課・スポーツ課・図書館・文化財課】

●土地区画整理事業などによる市街地整備を推進し、良好な宅地供給を図ります。【33億 9,146 万円、都市整備課・土橋区画整理事務所・寺部区画整理事務所・都市計画課・街路課】

●老朽化した市営住宅の建替を推進します。  
【2億 2,728 万円、建築住宅課】

●水と緑につつまれたものづくり・環境先進都市を目指すため、公園整備を推進します。【2億 1,300 万円、公園課】

●市道・街路整備を促進します。また豊田南・北バイパス事業の促進を支援するほか、内環状道路（高橋細谷線）、(都)猿投公園線を整備します。【77億 3,385 万円、土木課・地域建設課・街路課・幹線道路推進課・都市整備課・調査課・道路維持課・交通安全課】

●快適な住環境の確保と水質の保全を図るため、下水道事業を推進します。【30億 6,884 万円、下水道総務課・下水道建設課・下水道維持課】



燃料電池バス

▲走行時に二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しない燃料電池バスを引き続き「豊田東環状線」で運行します

## ■環境モデル都市

●「低炭素社会モデル地区」の整備に着手するなど、活力ある低炭素社会の実現に向けた取組を推進します。【9億4,995万円、環境モデル都市推進課・環境政策課・産業労政課・生涯学習課・都市計画課】

●環境先進都市「ハイブリッド・シティとよた」を目指し、人と環境にやさしい交通まちづくりを推進します。【1億4,340万円、交通政策課・総務部庶務課】

### 用語解説「ハイブリッド・シティとよた」

ハイブリッドとは「異質のものが混ざり合い形成されたもの」という意味の英単語です。

異質の要素や独立した技術を融合することで、新たな価値や仕組みを創出していくという考え方を表現したものです。

豊田市は「人」と「環境」と「技術」という貴重な資源を融合しながら「交通」「産業」「森林」の3つの分野を中心に活力ある低炭素社会を目指します。

●基幹バス、地域バスの充実や利用促進策の実施により、利便性の高い公共交通ネットワークを構築します。【9億8,504万円、交通政策課・地域支援課・9支所】

●健全な森づくりのために人工林の間伐を促進するとともに、間伐材のバイオマス活用などを促進します。【4億514万円、森林課】

▼PFI方式で設置される東部給食センター。市東部及び下山地区の児童・生徒に1日13,000食の給食を提供します



東部給食センター

●固有の湿地の保全など、この地域の生物多様性の保全を推進します。【764万円、環境政策課】

## (3) 産業基盤の整備

●産業発展のため、産業用地の整備を進めるとともに、市内へ立地する企業を積極的に支援します。【8億2,357万円、産業労政課】

●魅力ある商業地づくり、商業環境創出のために「がんばる事業者」を支援します。【7,050万円、商業観光課】

●農商工連携促進や地産地食の推進による農業の活性化と耕作放棄地の解消を図ります。【1,916万円、農政課・商業観光課】

3

## 生涯学び続けることのできるまちづくりに向けた取組

### (1) 学校教育分野

●中学3年生で35人学級編制の実施、イギリス・アメリカ・アジアへの中学生派遣、食育の推進、教育行政計画の策定など、創意と活力ある学校づくりを支援します。【5億510万円、学校教育課・保健給食課・教育行政課】

●校舎建設や給食センターなどの施設整備に取り組み、学校機能や学習環境の充実を図ります。【24億4,621万円、教育行政課・保健給食課・学校教育課】

▼小学校の授業の中で、自然・技・科学を学習、体感するプログラムを実施し、子どもたちのものづくりに対する興味・関心を高めます



ものづくりサポーターによる授業風景



ヨハネス・フェルメール  
《地理学者》1669年  
油彩、カンヴァス  
シュテューデル美術館

▲市制60周年記念事業の一環として、美術館で「フェルメール《地理学者》とオランダ・フランドル絵画展」を開催します

▼多くの市民がスポーツに参加できるように、恒例の豊田マラソンを開催します



昨年の豊田マラソン

## (2) 文化・スポーツ分野

●国内外の優れた美術品による展覧会やクラシック音楽・能楽鑑賞会を開催します。【1億8,414万円、美術館・文化振興課】

●豊田マラソン大会、国際ユースサッカー大会、豊田国際体操競技大会を開催し、「する・みる」スポーツの振興を図ります。【6,185万円、スポーツ課】

## (3) 生涯学習分野

●ものづくり教育を学校教育で推進するほか、ものづくり・科学の体験機能を推進します。【7,192万円、生涯学習課】

●多様なライフスタイルを可能にするため、高齢者などの社会参加を支援します。【2,796万円、生涯学習課】

# 4

## 市制60周年への取組

### (1) 市制60周年への取組

●市制60周年の取組として、これまでの市政の歩みを振り返るとともに、更なる発展への期待を込めて記念事業を実施します。【2億9,849万円、環境政策課・美術館・生涯学習課・文化振興課・地域支援課・文化財課】

### キーワード解説

#### 豊田市制60周年

本市は昭和26年3月に「挙母市」として市制を施行し、「豊田市」への市名変更、昭和・平成の合併を経て、今年で60年の大きな節目を迎えました。

わが国を代表する産業都市として発展してきたこれまでの市政の繁栄を振り返るとともに、更なる発展への期待を込めて、平成23年度は市制60周年を祝う記念事業及び関連事業が計画されています。



市制施行(昭和26年)当時

#### ●60年の主なできごと

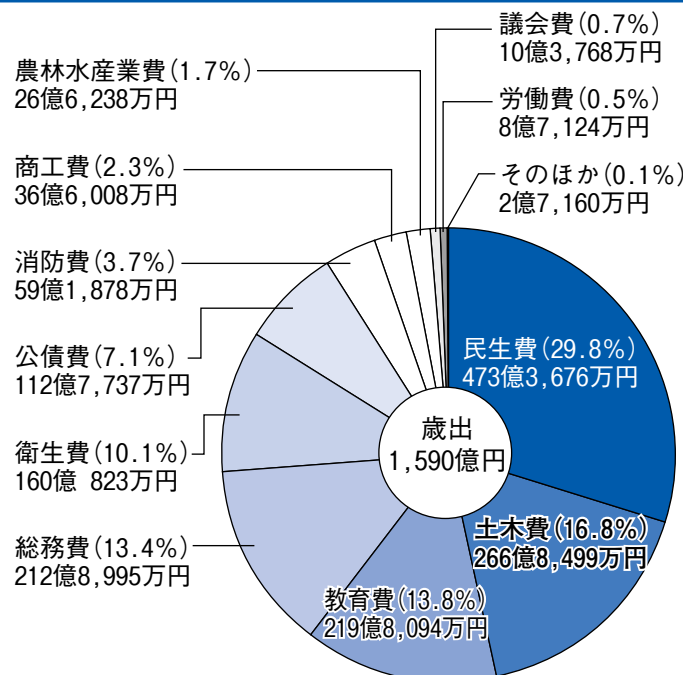
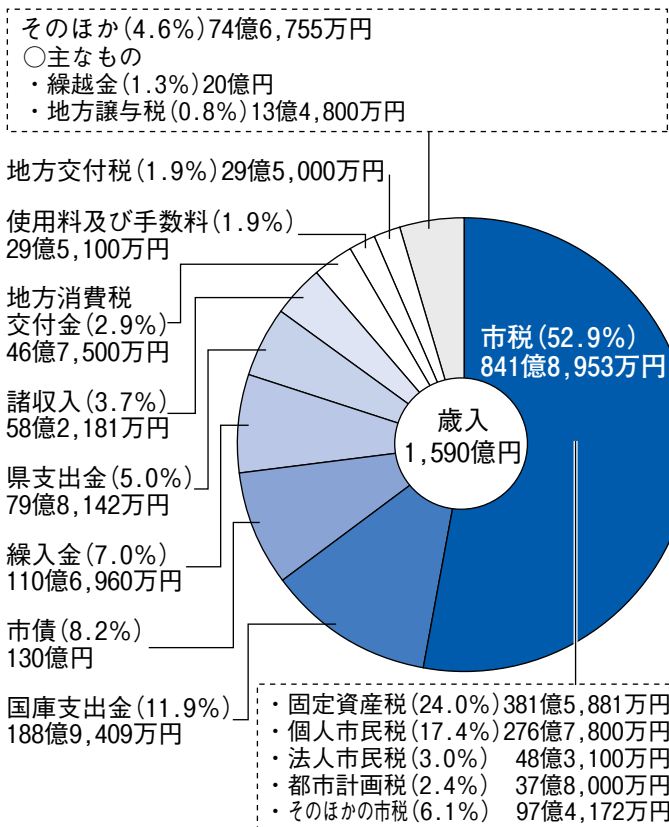
- 昭和26年3月 市制を施行し「挙母市」となる
- 昭和31年9月 西加茂郡高橋村と合併
- 昭和34年1月 「豊田市」に市名変更
- 昭和39年3月 碧海郡上郷町と合併
- 昭和40年9月 碧海郡高岡町と合併
- 昭和42年4月 西加茂郡猿投町と合併
- 昭和45年4月 東加茂郡松平町と合併
- 平成10年4月 中核市に移行
- 平成17年4月 東加茂郡旭町・足助町・稲武町・下山村、西加茂郡小原村・藤岡町と合併

# ●平成23年度豊田市の当初予算

# 総額 2,441億8,355万円

前年度比  
3.7パーセント増

## 一般会計 1,590億円(前年度比2.2パーセント増)



都市計画税の使いみちは以下のとおりです

事業区分	都市計画税充当金額
区画整理・街路事業・公園整備	22億 300万円
市債の償還(元金)	13億 600万円
下水道事業への出資金	2億7,100万円

## 平成23年度予算で市民1人あたりに使われるお金は 376,059円 (前年度比2.2パーセント増)

<p><b>民生費</b></p> <p>社会福祉の充実などに</p> <p>111,959円</p>	<p><b>土木費</b></p> <p>道路や河川、公園の整備などに</p> <p>63,114円</p>	<p><b>教育費</b></p> <p>教育の充実、スポーツ・文化の振興などに</p> <p>51,988円</p>	<p><b>総務費</b></p> <p>地域振興や庁舎管理などに</p> <p>50,354円</p>	<p><b>衛生費</b></p> <p>ごみの回収・保健衛生などに</p> <p>37,862円</p>
<p><b>公債費</b></p> <p>市債(市の借入金)の支払いに</p> <p>26,673円</p>	<p><b>消防費</b></p> <p>火災や救急、地震の対応などに</p> <p>13,999円</p>	<p><b>農工商費</b></p> <p>商工業や観光の振興などに</p> <p>8,657円</p>	<p><b>農林水産業費</b></p> <p>農林水産業の振興などに</p> <p>6,297円</p>	<p><b>そのほか</b></p> <p>市議会や労働行政などに</p> <p>5,156円</p>

※平成23年2月1日現在の人口422,806人をもとに算出しています

# 特別会計 569億4,682万円(前年度比11.3%<sup>↑</sup>増)

## 用語解説

特別会計とは、市が特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して設置する会計で、その特定の収入をもって特定の支出に充てるものです。

特別会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	322億4,869万円	3.6%
食肉センター	3億 914万円	118.3%
土地区画整理	土 橋	28億7,864万円 ▲19.1%
	寺 部	3億4,122万円 300.3%
	花 園	1億6,047万円 127.9%
分譲住宅建設	5,910万円	37.9%
公共下水道	— ※1	皆減
卸売市場	3億2,033万円	41.6%
老人保健	— ※2	皆減
農業集落排水	— ※1	皆減
水道水源保全	4,690万円	▲2.4%
母子寡婦福祉資金貸付	2,377万円	17.7%
介護保険	162億3,819万円	8.7%
財産区	盛 岡	774万円 93.9%
	賀 茂	941万円 ▲10.1%
簡易水道	12億7,521万円	7.1%
後期高齢者医療	30億2,801万円	9.7%
合計	569億4,682万円	▲11.3%

※1 企業会計(下水道事業会計)へ移行

※2 廃止

# 企業会計 282億3,673万円(前年度比79.1%<sup>↑</sup>増)

## 用語解説

企業会計とは、市が独立採算制を原則とする企業的色彩の強い事業を行う場合に設置する会計です。

※予算額は収益的支出予算と資本的支出予算を合算したものです

### ●水道事業会計(前年度比▲7.9%)

収益的	収入	98億7,308万円	資本的	収入	13億 351万円
	支出	96億1,815万円		支出	49億 563万円

### ●下水道事業会計(前年度比 皆増)

収益的	収入	69億 500万円	資本的	収入	34億4,731万円
	支出	68億3,520万円		支出	68億7,775万円

## 市債及び基金の現在高見込み

長期にわたって使用する学校や道路、大型施設などの建設にあたっては市債の発行(長期借入)をしています。

他方、年度間の財源調整のための財政調整基金のほか、特定の目的のために資金を積み立て、将来のために蓄えています。

### ●市債(長期借入金)の現在高見込み

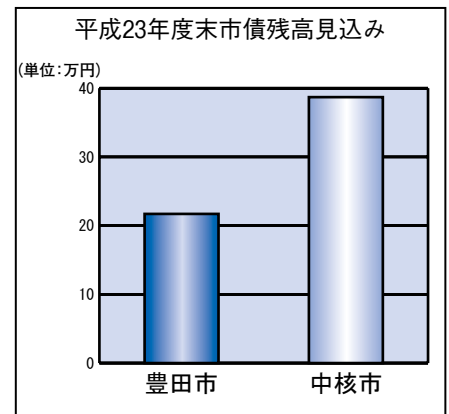
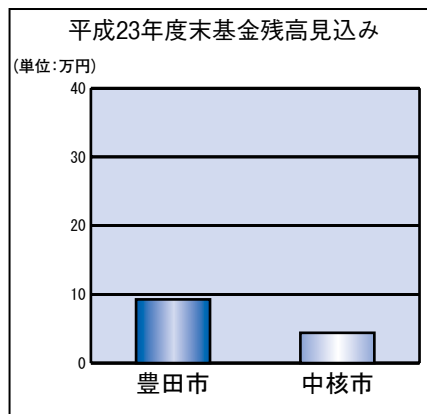
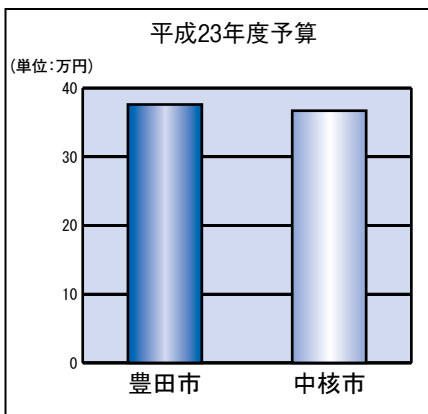
会計区分	22年度末現在高	23年度末現在高	増 減
一般会計	886億8,898万円	917億7,299万円	30億8,401万円
特別会計	16億 187万円	16億8,775万円	8,588万円
企業会計	708億9,292万円	688億8,350万円	▲20億 942万円
合 計	1,611億8,377万円	1,623億4,424万円	11億6,047万円

### ●基金(資金積立基金・財産維持基金)の現在高見込み

会計区分	22年度末現在高	23年度末現在高	増 減
一般会計	500億6,224万円	391億7,070万円	▲108億9,154万円
特別会計	29億9,729万円	20億3,833万円	▲9億5,896万円
合 計	530億5,953万円	412億 903万円	▲118億5,050万円

## 他の自治体(中核市)との比較(市民1人当たり)

「予算」「基金残高」「市債残高」の市民一人当たりのお金を同等規模の自治体(中核市)平均と比べてみると…



※市財政課調べ、平成23年2月1日現在の人口をもとに算出、いずれも一般会計ベース

# 予算のあらまし2011

この冊子は今号の折り込み「予算のあらまし2011」です。

**このページは裏面になります。**  
本紙から抜き取ってご覧ください。



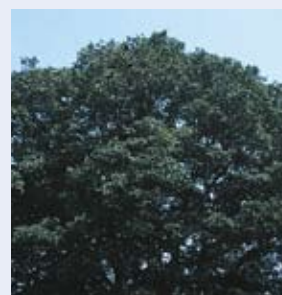
●市章

昭和26年11月に制定。豊田市が昔「衣の里」と呼ばれていたことから「衣」の文字を図案化し、旧拳母藩内藤家の紋などに見られる「ひし型」をかたどったものです。



●市の花／ひまわり

昭和40年3月、公募により決定。力強く太陽に向かって咲く「ひまわり」のように、市民のすべてに幸せの花を咲かせようという願いが込められています。



●市の木／けやき

昭和46年3月、市制20周年を記念して公募により決定。緑あるまちづくりを目指し、昭和47年から新築、結婚、出産、転入の記念樹として、苗木をプレゼントしています。